

指定管理者管理運営状況調書

1. 指定管理者・施設の基本情報 令和 7 年 7 月 3 0 日

指定管理者名	株式会社 ヒマラヤ	担当課	商工観光課
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日～ 令和 1 0 年 3 月 3 1 日	選定方法	公募→非公募(任意指定)
施設名	NEO キャンピングパーク	施設の種類	観光等施設
所在地	本巣市根尾下大須 1 4 2 8 番地 1		
設置根拠条例等	本巣市 NEO キャンピングパーク条例 本巣市 NEO キャンピングパーク条例施行規則		
設置目的・役割	NEO キャンピングパーク業務仕様書 3. 指定管理の対象となる管理施設の設置目的による		
実施事業	キャンプ事業		

2. 施設の概要

土地	敷地面積	29,326 m ²			駐車場台数	21台（キャンプサイト除く）		
	内借地面積	－	契約期間	－		賃借料	－	
建物	設置形態	市所有	契約期間	－		賃借料	－	
	建物の内容	管理棟、サニタリー棟、便所、倉庫、給水管理棟、休憩棟、車庫、コテージ（14棟）、オートキャンプサイト（57区画）						
	主要な建物の建築年月	平成9年			取得時期	平成9年		
	延床面積	1,353.68 m ²		構 造	RC造、鉄骨造、木造		階 数	1階
	耐震基準	未実施	耐震診断	－	耐震補強	－	I S 値	－
	ユニバーサルデザイン化状況	一部実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者用トイレ	その他
			無	有	有	無	有	－
	大規模修繕実施状況	無						
留意事項	無							

3. 管理・運営の現況

開館日数	365 日	休館日	水曜日	開館時間	9:00～
職員数等 管理体制	正社員 0 人、 アルバイト 平均 15 人 ※時期によって変動				

4. 施設の維持管理コスト等

市の収支状況	(単位:千円)		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	指定管理導入前
	支出	支出合計	7,330	4,802	4,591		
		人件費	0	0	0		
		修繕料・工事請負費	7,326	4,725	3,427		
		光熱水費	0	0	0		
		委託費・指定管理料	0	0	0		
		賃借料	0	0	0		
		その他	4	77	1,164		
	収入	収入合計	348	348	387		
		使用料・手数料	0	0	0		
		その他業務収益	0	0	0		
		業務関連収益	348	348	387		
指定管理者の収支状況	(単位:千円)		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	支出	支出総合計(a+b)	41,536	41,012	42,474		
		支出合計(a)	41,536	41,012	42,474		
		人件費	15,614	15,345	17,316		
		事業費	10,026	9,138	7,517		
		維持補修費	1,580	186	1,935		
		光熱水費	5,856	6,917	6,319		
		保守点検等委託費	8,143	8,509	8,349		
		その他	317	917	1,038		
		自主事業支出(b)	0	0	0		
	収入	収入総合計(c+d)	31,679	36,971	35,189		
		収入合計(c)	28,290	31,427	27,332		
		指定管理料	0	0	0		
		利用料金	28,290	31,427	27,332		
		その他	0	0	0		
		自主事業収入(d)	3,389	5,544	7,857		

5. 施設の利用状況

		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		指定管理導入前	
開館日数		363		348		365					
利用件数		—		—		—					
利用者数		7,702		8,119		7,376					
定員		—		—		—					
部 屋 別 稼 働 率	名称	—				平日	%	土日祝	%		
	午前	%	午後	%		夜間	%	計	%		
	名称	—				平日	%	土日祝	%		
	午前	%	午後	%		夜間	%	計	%		
	名称	—				平日	%	土日祝	%		
	午前	%	午後	%		夜間	%	計	%		

6. 事業の実施状況

事業の実施状況	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
特記事項				

7. 指定管理者制度導入・更新前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	コテージの利活用方法の拡充のため、全コテージの破損していたカーテンレールとカーテンの交換を実施した。また、A棟1、2へWi-Fiの接続環境整備が3月に完了し、次年度以降オプションとして運用を開始予定である。
コスト面	昨今の物価高騰や人件費の増加といった厳しい経営環境の中においても、運営の効率化に努め、可能な限り支出の抑制を図り、支出を昨年度とほぼ同額に抑えているが、収入減少の影響が大きく、結果として令和7年度も赤字となった。
利用者数・稼働率	年間利用者数は7,376人で、昨年度から743人減少した。減少の要因としては、第一に、記録的な猛暑の影響が挙げられる。第二に、山間部における熊の出没情報の増加が挙げられる。
事業実施状況	閑散期における新たな利活用として、アウトドアウェディングを実施した。 SNS・雑誌媒体等を活用した広告戦略として、毎月、ヒマラヤのアプリ会員向けに、施設情報の発信を行うとともに、SNSへの投稿を継続して実施し、LINEの友達登録や、インスタグラムのフォロワー獲得に努め、再来場につながるよう取り組みを進めた。
地域との協働等	昨年度同様、地元事業者と連携したイベントの実施や人的交流機会の創出など地域との連携・協働の推進は計画的に行っていない。
その他	指定管理者による初年度初期投資（2,500万円）について、初年度に大きな初期投資が行っていないため、毎年度段階的に実施予定。令和7年度は、コテージのWi-Fi環境の整備、カーテン及び電化製品の取替、ドックラン設備の整備を実施した。